

大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録

日 時	平成19年5月30日(水) 14:30~15:50		
場 所	山形大学事務局3F第1会議室		
出席者	委員長	柴田洋雄	山形大学副学長
	副委員長	大場英次	東北芸術工科大学大学改革担当課長
	〃	安達幸世	県立保健医療大学事務局長
	〃	片岡卓爾	(代理)県立米沢女子短期大学事務局長
	委員	中村三春	総務運営委員会委員長/山形大学 教授
	〃	松田幹夫	教育連携部会長/県立保健医療大学 教授
	〃	友光健二	学術情報部会長/山形大学学術情報部長
	〃	三浦正昭	山形大学企画部長
	〃	矢口親斉	(代理)東北公益文科大学学生支援係長
	〃	佐々木達雄	羽陽学園短期大学学生部長 教授
	〃	加藤康志郎	鶴岡工業高等専門学校地域共同テクノセンター長 教授
	〃	奥山克郎	放送大学山形学習センター所長
	〃	伊藤和博	県立産業技術短期大学校副校長
	〃	伊藤澄夫	(代理)県立農業大学校農業情報室長
	〃	今田秀喜	山形県文化環境部学術振興課長
欠席者	副委員長	佐藤孝也	山形短期大学学務部長 教授
	委員	呉 尚浩	地域活動部会長/東北公益文科大学 准教授

議事に先立ち、委員長から、人事異動に伴い新たに委員となった東北公益文科大学の富樫事務局長と山形県文化環境部の今田学術振興課長、および新規加入機関の委員となった県立産業技術短期大学校の伊藤副校長と県立農業大学校の鳥事務局長の紹介、並びに代理出席者の紹介があった。

議題1 平成18年度事業報告および収支決算について

総務運営委員会委員長の中村委員から、資料1-1、1-2に基づき、18年度の事業報告書(案)と収支決算書(案)について説明があり、委員長から諮られた結果、原案どおり了承され、6月4日開催の定期総会に提案することになった。

議題2 平成19年度事業計画および収支予算について

総務運営委員会委員長の中村委員から、資料2-1、2-2に基づき、19年度の事業計画書(案)と収支予算書(案)について説明があり、質疑・意見交換の後、委員長から諮られた結果、原案どおり了承され、6月4日開催の定期総会に提案することになった。

説明の主な内容

- ・昨年に引き続き、大学入試センターとの共催事業の、高校生向け「ガイダンスセミナー」と教職員向け「高大連携フォーラム」を計画
- ・新規事業は、後期開講のゆうキャンパスコーディネート科目「キャリア教育」／県から半額補助される地域活動支援事業「地域づくりセミナー」／県との共同事業「やまがたサイエンスカフェ」
- ・各機関の負担金（会費）は、学生収容定員1人あたり単価を前年度と同額で積算
- ・事務局職員1人増で運営経費を計上

意見交換の主な内容

Q 単位互換について、昨年度の利用者は23人であったが、今年度の見込みはどうか。

A 前期は1年生が履修できないので利用者は少ない。後期に向けてPRする。また、通常の単位互換科目は人数制限を設けているが、キャリア科目は人数制限をなくしている。

- ・新規加入の2機関について、今後、教育連携部会で単位互換制度との関連を検討する。

なお、関連して、総務運営委員会委員長の中村委員から、本コンソーシアムの活動も3年を経過しており、平成20年度以降の適正な事業規模と予算規模について、今年度前期中に総務運営委員会において検討していきたい旨発言があり、委員長から諮られた結果、了承された。

議題3 定期総会の議題について

委員長から、6月4日開催予定の本コンソーシアムの定期総会の議題について、資料3のとおりとしたい旨提案があり、了承された。

議題4 その他

(1) コンソーシアムを基盤とした県内進学への啓発について

委員長から、本件については、提案機関である東北芸術工科大学から説明いただいた後、5月23日開催の総務運営委員会での検討状況について中村委員から説明いただくことにしたい旨説明があった。

次いで、東北芸術工科大学の大場副委員長から、資料4に基づき、提案理由について詳細説明があった。

次いで、総務運営委員会の中村委員長から、総務運営委員会での検討状況について説明があった。

総務運営委員会での検討の主な内容

- ・具体案1の「高校のニーズに合わせた合同説明会の開催」と、具体案2の「高校教室等への各機関の資料の設置」については、高校サイドの考えも聞く必要がある。
- ・具体案3の「各機関のオープンキャンパスの情報提供」については、即対応も可能である。
- ・ただ、総務運営委員会のみで判断できることではないので、幹事会において検討いただくこととなった。

次いで、質疑・意見交換の後、本件については、即可能な具体案3については実施し、具体案1と2については、来年度に向けて総務運営委員会において検討することになった。

意見交換の主な内容

- Q 志願率低下への対応として、山形大学はどんな対策を検討しているのか。
- A 短期的対応としては、高校訪問の拡大やオープンキャンパスの充実を、また、中長期的対応としては、学生寮の整備などを検討している。
- ・高校の進学指導教員や県教育委員会等とも相談した上で、対応策を検討してほしい。
 - ・高校等との相談については、高大連携シンポジウムのような形も考えられる。

(2) 議事録署名人について

委員長から、本日の議事録署名人を、三浦委員および今田委員にお願いしたい旨提案がありました承された。

(配付資料)

- 参考資料1 幹事会委員名簿
- 参考資料2 コンソーシアム組織図
- 参考資料3 コンソーシアム会則
- 資料1-1 18年度コンソーシアム事業報告書(案)
- 資料1-2 18年度コンソーシアム収支決算書(案)
- 資料2-1 19年度コンソーシアム事業計画書(案)
- 資料2-2 19年度コンソーシアム収支予算書(案)
- 資料3 コンソーシアム定期総会議題(案)
- 資料4 コンソーシアムを基盤とした県内進学の啓発について

議事録署名人

山形大学副学長

柴田 洋雄 

山形大学企画部長

三浦 正昭 

山形県文化環境部学術振興課長

今田 香喜 